



象印マホービン  
CSRマニュアル

---

## はじめに

本マニュアルは、象印マホービングループの企業理念体系の定義を示すとともに、役職員一人ひとりが行動の指針とするべく設定した『CSR基本方針』を具体的に解説したものとなっています。

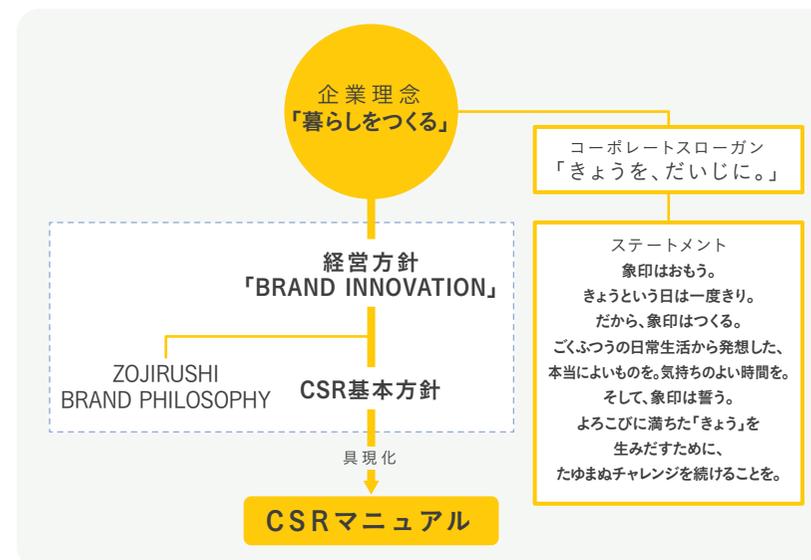
CSRとは「企業の社会的責任」であるとともに、「企業の社会的対応力」とも言えます。象印マホービングループはこの責任を全うし、社会の期待に誠実に応えていくため、CSR活動を推進します。役職員は本マニュアルの内容をよく理解し、実践してください。また、本マニュアルを常に閲覧可能な場所に保管し、日々の業務の道標としていただくようお願いします。

## CSR推進委員会

### Contents

|             |    |              |    |
|-------------|----|--------------|----|
| はじめに        | 02 | 1章・責任を果たすCSR | 06 |
| 理念体系        | 03 | 2章・期待に応えるCSR | 14 |
| 経営方針        | 04 | 内部通報制度       | 20 |
| CSR基本方針について | 05 |              |    |

## 理念体系



### 企業理念

創業時から有する不変のビジョン。象印マホービングループの経営の根底にある普遍的な価値観。環境の変化などによって容易に変更されることのない、追求すべき理想

### 経営方針

企業理念に基づいて、象印マホービングループが目指すべき将来像を具体的に示したものの

### ZOJIRUSHI BRAND PHILOSOPHY

『ZOJIRUSHI STANDARD』の精神を明文化したもの。象印ブランドの価値とは何かを定義し、あらゆる企業活動を貫く基本方針

### コーポレートスローガン

企業理念を補完する言葉

### ステートメント

コーポレートスローガンに込めた意味や思いを表現したもの

## 経営方針

### BRAND INNOVATION (ブランド革新)

#### 家庭用品ブランドの深化と「食」と「暮らし」のソリューションブランドへの進化

- 国内における人口・世帯数の減少、少子高齢化の進行、AI・IoT等テクノロジーの急速な発達等、人々の暮らしが変化・多様化していくなか、当社の強みである家庭用品としてのブランド継続だけでは、変化への対応が不十分になりつつある。
- 今後も持続的に利益を確保しプラス成長していくためには、家庭用品としてのブランドの更なる深化と、「食」と「暮らし」のソリューションブランドへの進化という、ZOJIRUSHIブランドの革新をはかる必要があり、これを次の100年に向けた第一歩の基本方針とする。
- 豊かな生活やお客様の幸せを実現するために、商品を提供する単なるモノづくり企業ではなく、食や暮らしに関する不満や負担、課題を、商品やサービスを通じて解決(ソリューション)できる企業にならなければならない。

### ZOJIRUSHI BRAND PHILOSOPHY

- お客様の喜びを最大の目的とする。
- 「品質」に基づく「信頼」こそ、象印ブランドの根幹であると認識する。
- 発想の源を常に人々の生活に置き、お客様の求める本質を見極めた商品を提供する。
- 日本のメーカーの誇りと自信をもって「日本品質」を世界に提供する。
- 世界共通の普遍的な価値は「安心」「安全」であると認識する。
- 各国、各地域の文化・慣習を尊重し、それに適合した商品を提供する。
- お客様の満足の対価として「売上」があり、お客様の期待を上回ることによって「利益」が生まれると考える。

## CSR基本方針について

当社は、「暮らしをつくる」の企業理念のもと、創業以来お客様の暮らしに寄り添いながら企業活動を行ってきました。2018年に創業100周年を迎え、これまで積み重ねてきた経営資源を守るべきは守り、変えるべきは変えつつ、これからの100年も社会の発展に貢献し、社会から必要とされ続けることが当社の使命であるとの考えから、従来の『経営姿勢』を『CSR基本方針』として改定しました。企業として必要不可欠な活動を「責任を果たす」CSR、象印らしさを発揮し、社会から必要とされる企業であり続けるための活動を「期待に応える」CSRと設定します。

### 1. 責任を果たす

- ①法令を遵守し、および社会通念を尊重し、良識ある行動をします。
- ②人権の大切さを理解・尊重し、あらゆる差別を排除して、適正な労働環境を構築します。
- ③公正で自由な競争を行い、正義に則った企業活動を行います。
- ④迅速かつ正確な情報開示を行い、企業の透明性を高めます。
- ⑤個人情報の管理を徹底します。
- ⑥企業倫理の向上に努め、自らを厳しく律します。
- ⑦反社会的勢力には断固とした姿勢でのぞみます。

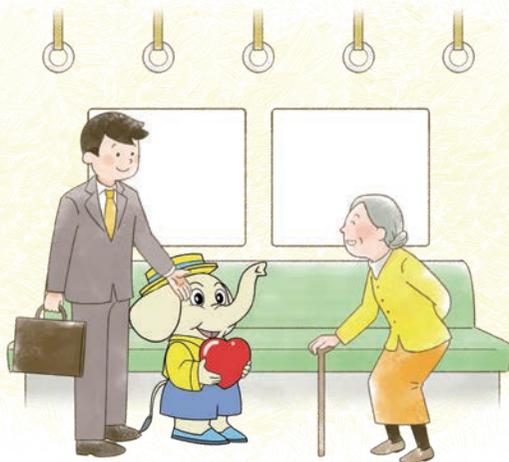
### 2. 期待に応える

- ①商品やサービスの品質を通してお客様の生活の充実に貢献します。
- ②企業の存在価値を高めるために常に研鑽します。
- ③「食と健康」「環境」「教育」の分野における社会貢献活動を積極的に推進します。
- ④地球環境の保護・改善に積極的に取り組みます。
- ⑤すべてのステークホルダーに愛される企業文化を構築します。
- ⑥社会の発展とともに企業の発展があるとの考えに則り行動します。

# 責任を果たすCSR

1

法令を遵守し、および社会通念を尊重し、  
良識ある行動をします。



## 法規範の遵守

法令や社内規程の遵守はもとより、社会的に常識とされる通念を尊重し、良識ある企業活動を行います。また、当社に求められる企業倫理を十分に認識し、常に社会人としての良識と責任をもって行動します。

## ブランドを意識した行動

業務内外を問わず、さまざまな人に接する私たち一人ひとりが象印ブランドを作り上げ、向上させるということを常に自覚し行動します。

2

人権の大切さを理解・尊重し、  
あらゆる差別を排除して、適正な労働環境を構築します。



## 人権尊重・差別禁止

すべての人の基本的人権を尊重し、出生、性別、年齢、国籍、人種、民族、信条、宗教、性的指向、各種障がい、趣味、学歴などに基づく不当な差別や、個人の尊厳を傷つける行為は一切行いません。

## ハラスメント行為の禁止

相手や周囲に不快感を与える性的な言動(セクシャルハラスメント)、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に業務の適正な範囲を超えて精神的・身体的苦痛を与える行為(パワーハラスメント)、その他一切のハラスメント行為および他人にそう誤解される行為を行いません。

## 労働時間の適正化

過剰労働による健康への影響を排除するため、労働時間を適正に管理し、総労働時間の圧縮および有給休暇の取得を推進します。

## 働きやすい職場環境の整備・向上

安全衛生、メンタルヘルスに配慮し、多様性を尊重した働きやすい職場環境の整備に努めます。また、積極的なコミュニケーションを通じて風通しの良い職場づくりを行い、その向上を図ります。

## 労働関係法令の遵守

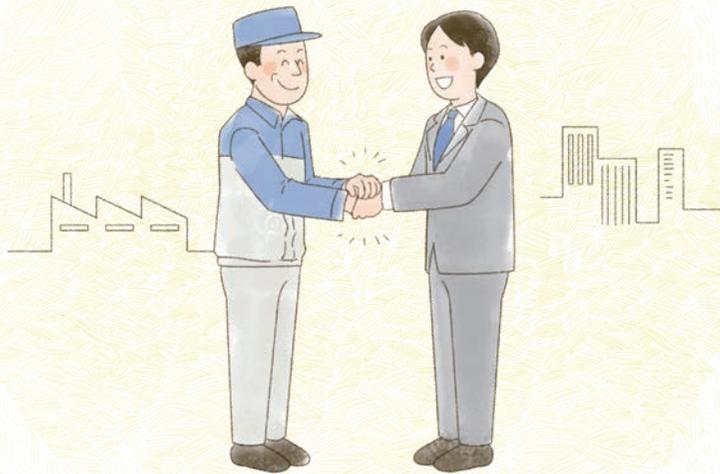
労働関係法令を遵守し、安全な労働環境のもと質の高い労働機会を提供するとともに、定められた最低賃金以上の賃金を支払います。また、児童労働・強制労働に相当する行為を絶対に行いません。

## 団体交渉権の尊重

関係法令に基づき、企業として尊重すべき権利の一つとして、従業員に対して団体交渉を認めます。団体交渉に際しては「信義誠実」の原則に従って臨みます。

### 3

公正で自由な競争を行い、  
正義に則った企業活動を行います。



#### 独占禁止法の遵守

公正で自由な企業間競争を維持するため、独占禁止法等の関係法令を遵守し、カルテルや談合、再販売価格の維持、優越的地位の濫用などの行為を行いません。

#### 購入先との適正取引

購入先に対し常に公平、公正に接し、良識と誠実さをもって取引を行います。また、お取引先に製造委託または修理委託を行う際には、下請法に則った契約および取引を行います。

#### 適切な契約の締結

業務を円滑に遂行するため、公正な契約を締結します。また、締結した契約に対してはその内容を理解し、定められた契約内容を誠実に履行します。

#### 不正競争の防止

不正な手段により購入先、販売先等の営業秘密を取得・使用しません。また、不正な手段により取得されたものであることを知りながら取得・使用しません。

#### 適正な広告・宣伝

広告宣伝活動にあたっては、他社を誹謗・中傷するような表示・表現、事実と異なる表示・表現またはお客様に誤解を生じさせるおそれのある表示・表現は使用しません。

#### 贈収賄の禁止・接待・贈答

贈収賄関連法令を遵守し、政治家、公務員または公務員に準ずる立場の人に対して、贈賄行為や利益供与などの行為を行いません。また、お取引先などとの関係において、接待・贈答を行う場合または受ける場合も、関連法令を遵守するとともに一般的な常識の範囲内で行います。

#### 寄付行為、政治献金規制

政治・行政との癒着を完全に排除して健全かつ透明な関係作りに努め、政治献金や各種団体への寄付などを行う際には、関係法令および社内規程を遵守して行います。

#### 輸出入関連法令の遵守

製品の輸出入にあたっては、国際的な平和と安全の維持を妨げることとならないよう、関係法令を遵守して適切に実施します。

4

迅速かつ正確な情報開示を行い、  
企業の透明性を高めます。



#### 企業情報の開示

株主、投資家の皆様に当社の状況を正しく理解していただくため、当社の財務内容や事業活動状況等の企業情報を適時・適切に開示します。

#### インサイダー取引の禁止

職務に関して当社またはお取引先の内部情報を知った場合は、その情報が正式に公表されるまでは、それらの会社の株式等を売買しません。また、内部情報については適切な管理を行い、情報漏えいの防止に努めるとともに、第三者に伝達することや株式等の売買を勧める行為を行いません。

5

個人情報の管理を徹底します。



#### 個人情報の保護

お客様、お取引先、従業員などから入手した個人情報については、個人情報保護法その他関係法令および社内規程を遵守し、適切に取り扱うとともに厳重に管理します。

6

企業倫理の向上に努め、  
自らを厳しく律します。



#### 適正な会計処理

会計に関する法令、基準に従って適正な会計処理を行い、虚偽または架空の記載を行ったりしません。

#### 利益相反禁止

当社での職務上の地位や、職務上知り得た情報に基づいて、当社の利益に反するような活動は行いません。

#### 企業秘密の管理

自社および他社の企業秘密は厳重に管理し、不正または不当に利用・開示・漏えいすることの無いよう適切に取り扱います。

#### 会社資産の適切な使用

会社の資産は有形無形を問わず、適正に管理し、業務目的以外に使用しません。

#### 知的財産権の保護

知的財産権を尊重し、自社の知的財産権の保全に努めるとともに、第三者の知的財産権を侵害したりまたは不正に使用したりしません。

7

反社会的勢力には  
断固とした姿勢でのぞみます。



#### 反社会的勢力との関係断絶

違法行為や反社会的行為にかかわらないよう、常に良識ある行動に努め、反社会的勢力および団体などとは一切関係を持たず、不当な要求にも応じません。

## 期待に応えるCSR

1

商品やサービスの品質を通して  
お客様の生活の充実に貢献します。



### 企業理念

「暮らしをつくる」の企業理念のもと、家庭用品メーカーとして、お客様の生活に寄り添った商品やサービスを提供することを使命として企業活動を展開します。当社の商品やサービスを購入していただいたお客様に満足していただくため、その品質については常に追求していきます。

### 安全性の追求

ZOJIRUSHI BRAND PHILOSOPHYに基づき、「世界共通の価値は『安心』『安全』」であると認識し、商品やサービスの安全性には十分な配慮を行います。

### 象印らしさの発揮

常にお客さまの視点に立ち、その生活の充実に貢献する「象印らしい」商品やサービスを提供し続けます。

2

企業の存在価値を高めるために  
常に研鑽します。



### 誠実な対応

企業の存在価値は、社会にどのような影響を与えているかによって決められると認識します。社会からの要請や期待には誠実に対応し、社会により良い影響を与えられるよう努めます。

### 社会の変化への適応

社会からの要請や期待は時代とともに変化するため、常に社会の変化を確認しながら、今、何が求められているのかを正確に判断し、適切に対応します。

3

「食と健康」「環境」「教育」の分野における  
社会貢献活動を積極的に推進します。



#### 社会への貢献

企業市民として地域社会への協力、ボランティア活動など社会貢献活動を行い、社会の発展に寄与します。また、社員個人の社会的貢献活動も支援します。

#### 積極的貢献分野

とりわけ「食と健康」「環境」「教育」の3分野においては、「象印らしさ」を発揮できる分野として、積極的かつ自発的に取り組みを行い、企業価値の向上に努めます。

4

地球環境の保護・改善に  
積極的に取り組みます。

#### 環境保護・改善活動

次世代に今よりも良い環境を引き継いでいくことを意識し、環境意識の向上を図り、地球温暖化防止に向けた取り組みや環境保全活動に自主的、積極的に参加します。

#### 商品を通じた貢献

当社固有の断熱技術を活用した環境にやさしい商品の開発・提供を行うとともに、省エネ性能を追求した研究や技術開発により、地球環境の保護に貢献します。

#### 事業活動を通じた貢献

- ・エネルギーの効率化や、再生可能エネルギーへの転換などを通して、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出量削減に積極的に取り組みます。
- ・製造過程で出る汚染物質は法令に則って適切に処理し、またその排出量の削減に努めます。
- ・リデュース(削減)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)を推進し、資源の有効活用を図り、廃棄物の発生を抑制します。
- ・使用する水の水源、使用、排出を管理し、節水に努めます。



5

すべてのステークホルダーに愛される  
企業文化を構築します。



#### ステークホルダーとの関係

当社のステークホルダーは、「お客様」「取引先」「株主」「従業員」「地域社会」および「地球」と認識します。当社の存在価値を高めるため、当社の存在がステークホルダーに「心地よい」と感じていただけるような企業文化の構築を目指します。

#### 適切な対応

ステークホルダーからの要請や期待に対しては、真摯に向き合い、適切な対応を行います。仮にその要請や期待に応えることが困難な場合であっても、誠実に応答し、ステークホルダーからの信頼を積み重ねられるよう努力します。

6

社会の発展とともに企業の発展がある  
との考えに則り行動します。



#### 社会の発展への寄与

企業は社会の一員であり、社会の安定があって初めて正常な企業活動が遂行でき、社会が悪化すれば必ず当社の経営環境も悪化すると認識します。当社は企業活動を通して社会の発展に寄与し、社会とともに発展していくことを目指します。

#### 新しい時代に向けて

当社が創業以来100年を超える歴史を築いて来られたのは、先人の方々の努力やお取引先のご協力の賜物であることに感謝するとともに、日本および世界の発展が背景にあったことを深く認識します。

次の100年も当社は社会とともに歩んでいきます。